

# これから伸びる 京阪神のカイシャ 2022秋

日刊工業新聞社 西日本支社：編

新型コロナウイルスにも負けない有力企業

日刊工業新聞社

## ▲株式会社東研サーモテック

# 金属熱処理専門のプロフェッショナル集団

—国内トップクラスの規模と実力でモノづくり企業の価値向上をサポート

ここに  
注目!

他社を圧倒する熱処理技能士数（特級 120 名、一級 243 名、二級 154 名）  
熱処理需要の安定性と次世代 DLC コーティングの将来性

鉄は鉄のままでは使えない。伸びたり、折れたり、へこんだり、あるいは錆びたり、割れたりもする。鉄を鉄として使えるようにしているのが、「焼き入れ」に代表される金属熱処理だ。加熱と冷却を加えることにより、強さや硬さ、粘りのほか、耐衝撃性、耐摩耗性、耐腐食性、被削性などを付与できる。自動車や家電製品、大型建築物などのほか、身の回りの小物部品に至るまで随所に見られる金属は、ほぼ熱処理加工されていると言ってよい。その金属熱処理で国内トップクラスの実力と規模を誇るのが、株式会社東研サーモテックだ。

### 500名超が国家資格保有者

1909年の創業以来、熱処理専門企業として数々の知見を積み重

ね技術を高めてきた。特に熱処理は、見た目ではわからない加工技術のため、顧客が求める強度や硬さを着実に付与する量産品質がカギとなる。同社は最新の検査機器を導入し、量産品でもバラツキなく安定した品質を保つ管理体制を確立。「東研なら安心して任せられる」という顧客の信頼を次々に獲得。自動車部品や機械、電機、建設など名だたる大手メーカーの取引を軸に、着実に成長を遂げてきた。

そんな高度な品質管理を可能にしているのが、専門知識を持つ人材の力。517名もの社員が、国家資格の金属熱処理技能士の資格を有しており、川崎隆司社長は、「間接部門を含めて、多数の社員が国家資格保有者という会社はめったにない。そんな当社のモノ

づくりに安心感を持ってもらえるはず」と説明する。資格取得は義務ではないが、「みんなで取ろうという雰囲気。自発的に勉強しようという環境ができあがっている」（川崎社長）。

現在、国内12工場に、タイ・マレーシア・中国・メキシコの海外拠点を加えて、様々な業種の多様な熱処理ニーズに対応しながら、最近は太陽光発電の導入をはじめカーボンニュートラルの取り組みも積極化しているが、なかでも注力しているのが、ダイヤモンド・ライク・カーボン（DLC）と呼ばれるコーティング技術。ダイヤモンド並みの硬度を持つ薄膜形成技術で、すでに同社の売上の約2割を占め、自動車部品向けを中心に国内トップのDLCコーティングの事業規模を持つ。川崎



2019年に新設した橋本工場（最新の設備が稼働している）



鋼を加熱と冷却を加えることで硬さが得られ、耐摩耗性や耐疲労性が向上する



先行開発室を設置し、若手を抜擢している



女性エンジニアも活躍中

社長は、「硬いだけでなく、滑る、電気を通す、人体に影響がない、錆びないといった特性は、自動車以外の用途でも大きな可能性がある」として、2年前に立ち上げた「先行開発室」を軸にして、10年後にDLC関連の売上倍増を目指している。

### 平均年齢37.7歳の若さで未来を切り開く

特筆すべきは、同社の将来を担う先行開発室のトップに30代の若手エンジニアを抜擢し、20代の社員2名を配属させたこと。

「50代60代の社員では10年後の仕事に責任を持ってやりきれない」（川崎社長）。平均年齢37.7歳という若い力が、同社のポテンシャルの高さを物語る。「鉄がある限り、我々の熱処理の仕事はなくなるならない。だが時代に合わせて変化を遂げていくことが不可欠。そのためにも多様な人材を獲得していく」と強調する。

毎年、高卒、大卒の新卒者を採用しているが、海外勤務や国内転勤の有無によって3つのコースを用意し、働き方を選べる制度を設けている。同じ勤務地でコツコツ

やるコースやグローバルにバリバリやりたい人向けのコースなど。「人生の中で働き方や考え方は変わるもの」（川崎社長）として、毎年2月にコースの確認を行っており、昨年50名以上がコース変更をしている。創業110年の歴史を持ちながら、若い社員の成長をテコに熱処理のプロフェッショナルを極め続ける東研サーモテック。同社の力が一段と期待される時代を迎えようとしている。

### わが社を語る

代表取締役社長  
川崎 隆司氏



### プライドを持ってモノづくりを支えていく

鉄のある所には必ず熱処理があると言われる。至る所に鉄が使われる現代社会において、熱処理はなくてはならない技術です。金属熱処理専門企業の草分けとしてスタートした当社は、常に新たな技術の開発導入に努め、国内最多の熱処理技能士を擁する熱処理専門のプロ集団として知られるまでになりました。当社が提供するものは、特定の商品ではなく技術力。お客様から

預かった製品の性能や価値を高め、見た目からはわからない部分でお客様をサポートするのが私たちの使命です。今後も知識・技術・情熱を結集し、熱処理を通じて社会に貢献できるよう、プライドを持ってモノづくりを支えてまいります。

### 会社 DATA

所在地：大阪府寝屋川市中木田町13-2

創業：1909（明治42）年

設立：1939（昭和14）年8月

代表者：川崎 隆司

資本金：8,800万円

従業員数：正社員：690名 準社員：151名（2022年3月21日現在）

事業内容：【金属熱処理加工】ガス浸炭、ガス浸炭窒化、ガス軟窒化、無酸化焼入れ、真空熱処理、オーステンパー 【薄膜形成処理】PVD、DLC、VC処理【熱処理設備の仕様・製作に関するコンサルティング業務】

URL：<https://tohkenthermo.co.jp>

